

ヨモギ・セイタカアワダチソウの越冬形態

ヨモギ、セイタカアワダチソウは、通常晩秋から初冬にかけて根茎先端が上向き出芽して地上にロゼット葉を形成し（写真 A）、この形で越冬するといわれてきました。しかし、昨今、市街地や都市部（とくに関西以西）では、冬季にもシュートを伸ばし生育中のもの（C）がかなりみられます。また、その中間（B）もあります。

<質問>

貴方の周辺で1~2月頃に見かける状態は？

- ・ A, B, C でお答え下さい（複数可）
- ・ それぞれの状態を見かける場所（生育地）

回答例：

A（公園芝生内，街路樹下）

C（道路フェンス沿い，高架下植込み）

できましたら、セイタカアワダチソウ（2頁目に写真）についてもご回答ください。
その他、お気づきの情報がありましたら、何でもお知らせ下さい。

<ヨモギ>



A: ロゼット葉の状態*（撮影：2月中旬，神戸市）



B: 伸長開始（撮影：2月中旬，神戸市）



C: 生長中（撮影：1月中旬，神戸市）

* タンポポのように、茎が伸長せず葉（根出葉）が放射状に出ている状態

<セイトカアワダチソウ>



A: ロゼット葉の状態 (撮影：2月中旬，神戸市)



B: 伸長開始
(撮影：2月中旬，神戸市)



C-1: 生育中 (撮影：1月中旬，神戸市)



C-2: 生育中_低温障害を受けている
(撮影：2月中旬，豊田市)

<回答>

ヨモギ（・セイタカワダチソウ）の越冬状況についての情報—まとめ

回答件数：16

地域：山形市（山形県），仙台市（宮城県），つくば市（茨城県），牛久市（茨城県），町田市（東京都），鯖江市（福井県），磐田市（静岡県），豊田市（愛知県），大津市（滋賀県）：2件，枚方市（大阪府），神戸市（兵庫県），加西市（兵庫県）：2件，香川県，鹿屋市（鹿児島県）

調査時期：1月～3月中旬

ヨモギ

- 「ロゼット」での越冬は積雪のあるところも含めすべての地域で大半を占めたが，大津市以西ではいずれの地域でも「伸長中のシュート」(写真A)が多少観察された．後者が見られたのは，日当たりのよい場所，アスファルト舗装道路とコンクリート等の壁面の隙間，地下部が防草シート下にある等，周辺より暖かいと想定される場所である．
- 神戸空港前の高架下で観察されたような冬季の旺盛な生長(写真B)は，他の地域ではみられなかった．特殊な状況が起こったのは，環境(暖冬)とともに刈取り時期の影響が想定される．
- ロゼットのサイズについても，日向と日陰とではかなり異なること(大津，大阪，神戸)(写真C)，また冬季でも拡大し続けている(東京)との情報が寄せられている．

セイタカアワダチソウ

少ない情報から判断する限り，越冬状況はヨモギとほぼ同様のようである．異なる点は秋～冬に伸長した(多分刈取り後の再生)半枯れのシュートがよく観察されること(大津市以西)(写真D)．これらのシュートは結局枯死し，春から継続して伸長することはないようである．

(2015年5月15日，文責：伊藤操子)



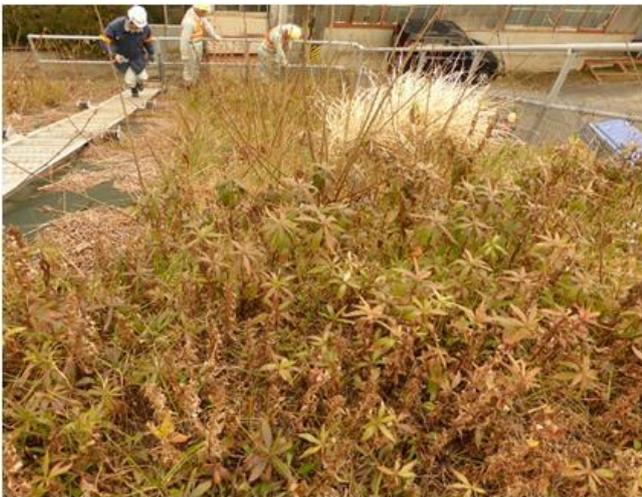
A (左:鹿屋市, 3月2日撮影; 右:大津市, 2月27日撮影)



B (神戸市, もと植栽地, 1月2日撮影)



C (公園内, 左:高木下, 右:芝生内, 2月13日撮影)



D (豊田市鉄道のリ面, 2月12日撮影)

情報提供者(順不同, 敬称略)

古頭佐敏, 片橋久夫, 角龍市朗,
森田亜貴, 坂口晶代, 三浦豊,
田村正一, 小西真衣, 高比良麗子,
定由直, 高橋道彦, 酒井マリ,
伊藤幹二, 伊藤操子, 匿名2名